

日本地域学会ニューズレター

2013年 no.1

平成 25 年 3 月 1 日

目 次

I. 会長挨拶	...	2
II. 新役員	...	2
III. 第 50 回日本地域学会年次大会 (平成 25 年 10 月 12~14 日) のご案内 論文報告の募集, シンポジウムについて	...	3
IV. 総会報告 立正大学で開催された日本地域学会総会についての報告	...	4
V. 理事会報告 平成 24 年度第 3,4 回及び平成 25・26 年期新理事会	...	5
VI. 委員会報告 1. 優秀発表賞選考委員会 (受賞者の紹介) 2. 機関誌編集委員会 (第 41,42 回についての報告)	...	7
VII. 会費納入のお願い 平成 25 年度会費請求額, 会費早期納入の特典, Web 会員について	...	8
VIII. 第 23 回 PRSCO バンドン大会のお知らせ	...	9
IX. 学会賞候補者推薦の募集	...	9
X. 会員の移動 正会員入会申込書	...	10 12

注意: 平成 25 年度会費請求書が同封されています。

I. 会長挨拶

日本地域学会
会長 氷鉋 揚四郎

昨年は日本地域学会の設立50周年の節目にあたり、その長い歴史を改めて振り返るための数々の取り組みを行ってまいりました。具体的には、一昨年からは各種記念学術セッションの開催等、昨年は記念式典の開催と記念誌の出版等を行いました。何れにおいても多くの会員の献身的なご協力により今後の指針となるべき大きな成果が得られました。ご寄付を頂き記念行事の運営を支えてくださった会員の皆様、また記念行事へ積極的に参加していただきました皆様に、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

記念誌編集委員会の諸先生にご尽力いただいた2年に亘る成果は、『地域科学50年の歩みと展望』として実を結んでおります。地域科学の歴史を知る上でも、また学術的発展の過程を知る上でも、たいへん貴重な文献です。是非、ご購入の上ご一読頂き、ご感想をお寄せいただければ幸いです。入手方法については、学会ホームページを参照していただくか、学会事務局までお問い合わせください。

2013年は地域学会のさらなる発展を期する次の半世紀の始まりとなる年ですが、それに合わせて、いくつかの重要な改革がスタートしています。まず学会運営では、新理事会のスタートに合わせ、顧問会議を設立しました。これまで地域学会を牽引されてきた理事の諸先輩に顧問へ就任していただき、重要な意思決定の場面でご意見をいただける枠組みを構築しました。本学会の会務効率化という点では、Editorial Manager 提供のシステムを利用し、ウェブ上での論文投稿審査システムの運用を開始しました。利用方法は学会ホームページで提供しています。会員の研究成果の普及促進としては、EBSCO 社が提供する経済学分野のデータベース EconLit with Full Text で、地域学研究掲載論文のフルテキスト公開をスタートしました。これにより世界中の有力大学・研究機関において、地域学研究へのアクセスが容易になり、引用の増加が見込まれます。また、学会ホームページも、これまでは筑波大学内のサイトをサーバーとして運用してきましたが、学会公式のホーム

ページとして専門のプロバイダーから URL を取得し、どこからでもアクセスしやすい形で提供します。

今年度に予定されている公式行事としては、まず初めに徳島大学大学院教授近藤光男本学会理事を準備委員会委員長として開催する第50回年次大会があります。これは、年次大会としては50回目の節目となる大会ですので会員諸賢におかれましては是非、奮ってご参加ください。また、2年に1度開催される PRSCO の正規大会 (第23回環太平洋地域学大会機構バンドン大会) がインドネシアで開催されます。これも、日本地域学会が主要構成メンバーとして運営の一翼を担っている重要な国際学会ですので是非ご参加ください。参加登録なども学会ホームページ上で案内されています。

本学会役員および学会事務局は、今後とも地域科学の発展と本学会会員サービスの向上を目指して、会員の皆様とともに日本地域学会の運営に取り組んでまいりますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

II. 新役員

去る10月に立正大学で開催された総会での承認を経て、平成25・26年期の役員が選出されましたので、お知らせいたします。

会長

氷鉋揚四郎 (筑波大学)

副会長

細江守紀 (熊本学園大学)

宮田譲 (豊橋技術科学大学大学院)

三橋博巳 (日本大学)

総務担当常任理事 (事務局長)

渋澤博幸 (豊橋技術科学大学)

財務担当常任理事

高橋秀悦 (東北学院大学)

庶務担当常任理事

櫻井一宏 (立正大学)

理事

阿部宏史 (岡山大学大学院)

石橋健一 (名古屋産業大学)

岡村誠 (広島大学)

加賀屋誠一 (室蘭工業大学)
鐘ヶ江秀彦 (立命館大学大学院)
木南莉莉 (新潟大学)
国光洋二 (農業・食品産業技術総合研究機構)
近藤光男 (徳島大学大学院)
齋藤参郎 (福岡大学)
佐々木啓介 (東洋大学)
多和田眞 (名古屋大学大学院)
徳永澄憲 (筑波大学)
戸田常一 (広島大学)
長野章 (全日本漁港建設協会)
中山恵子 (中京大学)
萩原清子 (佛教大学)
林良嗣 (名古屋大学大学院)
福井秀夫 (政策研究大学院大学)
藤岡明房 (立正大学)
松本昭夫 (中央大学)
三友仁志 (早稲田大学大学院)
宮城俊彦 (東北大学大学院)
柳原光芳 (名古屋大学)

監事

筒井信之 (株式会社創建)
奥山恭英 (北九州市立大学)

III. 第50回日本地域学会年次大会 (平成25年10月12~14日)のご案内

平成25年度(2013年)日本地域学会第50回年次大会は、徳島大学において下記の通り開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日: 平成25年10月12日(土)~14日(月)

開催校: 徳島大学

会場: 徳島大学工学部キャンパス 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1

大会準備委員会 委員長: 近藤 光男 (徳島大学大学院 教授)

セッション:

・ 共通論題:

- (a) 地域経済・地域雇用
- (b) 産業集積・情報
- (c) 環境評価・環境政策
- (d) 地域環境・地球環境
- (e) 国際経済政策
- (f) 交通・コミュニケーション
- (g) 経済分析・モデル分析
- (h) 意識分析・行動分析
- (i) 地方分権・地方財政・道州制
- (j) 持続可能都市・地域システム
- (k) 都市再生・地域再生
- (l) 沿岸域管理・海洋政策
- (m) ツーリズム
- (n) アジア経済

・ 一般論題: 立地, 人口移動, 地域経済等の地域学一般の課題すべて

(公開) シンポジウム

テーマ: 津波防災と持続可能な地域づくりの接点へ
(仮題)

内容: 講演会およびパネルディスカッションを実施予定

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へ e-mail, fax または封書等で応募して下さい。応募締切は平成25年5月31日です。なお、専用の応募用紙を利用される場合は、学会HPからダウンロードできます。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名, 所属 (複数の場合には、発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract: 和文 (700字以内) 及び英文 (200 words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等

7. 希望討論者 2 名 (会員に限る; 必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトル及びセッションの意図, 内容等の概要 (和文 300 字以内, 英文 100words 以内)
2. 座長 (1-2 名の会員) 氏名, 所属, 同英文表記
3. 1セッション当たり 3-4 編の報告を目途に, 各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し, 討論者は各々の論文について 1 名でも可。
4. 対応責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問合せ及び応募は, 以下の日本地域学会事務局宛にお願いします。

筑波大学大学院生命環境科学研究科

氷鉋 (ひがの) 研究室内

〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel/fax: 029-853-7221

メールによる応募: app@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

メールによる問合せ: sec@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

応募用紙の入手: http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/index_jap.html

年次大会の参加申込み

大会及び懇親会の参加申込み方法は, 次号のニューズレター及び学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP: http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/index_jap.html

IV. 総会報告

平成 24 年度総会が, 去る平成 24 年 10 月 7 日 13 時 30 分より, 年次大会の会場である立正大学 (石橋湛山記念講堂) で開催されました。まず, はじめに氷鉋会長 (筑波大学大学院教授) より挨拶を頂きました。この後, 氷鉋会長を議長として審議と報告が行われました。つづく学会賞授与式では, 酒井泰弘委員長より経過報告の後, 氷鉋会長より受賞者に各

賞が授与され, 総会は無事閉会しました。当日の次第, 審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題
 - 1) 新入会員・退会希望者
渋澤総務担当常任理事より新入正会員 42 名, 退会正会員 81 名, 退会法人会員 1 団体について報告があり, これを承認。
 - 2) 平成 23 年度の事業報告
この件について渋澤総務担当常任理事より報告があり, これを承認。
 - 3) 平成 23 年度の収支決算
この件について高橋財務担当常任理事より報告があり, 柳原監事より適正に処理されていることが報告され, これを承認。
 - 4) 平成 25 年度の事業計画
この件について渋澤総務担当常任理事より説明があり, これを承認。
 - 5) 平成 25 年度の収支予算
この件について高橋財務担当常任理事より報告があり, これを承認。
 - 6) 平成 24 年度の収支予算 (修正案)
この件について高橋財務担当常任理事より報告があり, これを承認。
 - 7) 平成 25・26 年期理事候補者の承認
この件について渋澤総務担当常任理事より説明があり, これを承認。
 - 8) 第 50 回 (2013 年) 年次大会の開催地及び開催校等の承認
渋澤総務担当常任理事より徳島大学で開催することが提案され, これを承認。
 - 9) 第 51 回 (2014 年) 年次大会の開催地及び開催校等の取り扱い
渋澤総務担当常任理事より東日本で候補を選定中であることが報告され, 今後の取り扱いについては事務局に一任することを承認。
4. 報告
 - 1) 『地域学研究 (42 巻)』の編集
多和田編集委員長より編集経過について報告された。

2) EBSCO の件

氷鮑会長より、地域学研究の EBSCO への収録の検討経過について報告された。

3) RSAI の動向

4) PRSCO の動向

5) その他

5. 学会賞授与式

1) 選考経過報告と受賞者紹介

功績賞: なし

学術賞

論文賞: 藤岡明房, 岡村誠, 佐々木啓介

奨励賞: 古澤慎一

著作賞: 松行康夫

学位論文賞

田中啓一賞 (博士論文賞): 沖山充, 山城興介, 王敦彦

熊田禎宣賞 (修士論文賞): Ha Thi Thu Trang, 加藤裕人, 盧克宇

発表賞 (対象は前大会での発表者)

最優秀発表賞: 相楠

2) 学会賞授与

3) 受賞者挨拶

6. その他の連絡事項

7. 閉会の辞

V. 理事会報告

平成 24 年度 日本地域学会 第 3 回理事会

日時: 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 18:00-20:00

場所: 立正大学経済学部

出席者: 氷鮑, 宮田, 洪澤, 高橋, 臼井, 岡村, 木南, 河野, 近藤, 斎藤, 酒井, 多和田, 徳永, 中山, 原, 藤岡, 松本, 三橋, 三友の各理事 (ただし, 加賀屋, 阿部, 戸田, 長野, 萩原, 福井の各理事より委任状付託); 柳原監事, 小野崎年次大会準備委員; 水野谷, 櫻井, 内田, 古澤, 徐の各幹事; 坂田事務局秘書
議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

洪澤総務担当常任理事より, 前回理事会の入会退会の訂正の説明の後, 申込のあった 8 名の正会員 (個人会員) の入会と 5 名の正会員 (個人会員) の退会の希望を審議し, 総会に諮る事を諒承。

2. 平成 24 年度第 49 回年次大会の運営

これに関して藤岡大会実行委員長と氷鮑会長より, プログラムの変更と総会次第について説明があり, これを諒承。

3. 平成 25・26 年定期理事候補者名簿

これに関して, 氷鮑会長より説明があり, 総会に諮ることを諒承。

4. 日本地域学会 50 周年記念事業

1) 特別表彰

これに関して, 酒井学会賞選考委員会委員長より, 特別表彰の選考結果について説明がありこれを諒承。

2) 日本地域学会設立 50 周年特別貢献賞に関する規定

これに関して, 酒井学会賞選考委員会委員長より, 規程の説明がありこれを諒承。

5. 学会賞推薦委員会の件

これに関して, 酒井学会賞選考委員会委員長より, 平成 24 年度の学会賞の受賞者について説明がありこれを諒承。

6. 年次大会次期開催地・開催校

洪澤総務担当常任理事より, 次回の年次大会は徳島大学において実施する予定である旨説明があり, これを諒承。

7. 年次大会次々期開催地・開催校

洪澤総務担当常任理事より, 東日本で検討中であることが報告され, 今後この取扱については事務局に一任することを諒承。

報告事項

1. 『地域学研究』第 42 巻の編成

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』42 巻の掲載候補論文の選考結果と印刷状況について報告が行われた。

2. RSAI の動向

3. PRSCO の動向

平成 24 年度 日本地域学会 第 4 回理事会

日時: 平成 24 年 12 月 22 日 (金) 13:00-15:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 氷鮑, 加賀屋, 宮田, 洪澤, 臼井, 河野, 近藤, 酒井, 多和田, 中山, 原, 福井, 藤岡, 松本, 三橋, 三友の各理事 (ただし高橋, 木南 (莉), 斎藤, 徳永, 戸田,

萩原, 林の各理事より委任状付託); 筒井監事, 吉田第 48 回年次大会実行委員長, 鐘ヶ江学術副委員長; 水野谷, 櫻井, 内田, 徐の各幹事; 坂田事務局秘書

1. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より, 前回理事会の後, 申込のあった 1 名の正会員 (個人会員) の入会と 2 名の正会員 (個人会員) の退会の希望を審議し, 総会に諮る事を諒承。

2. 第 49 回年次大会会計報告

これに関して藤岡大会実行委員長と櫻井実行委員より資料に基づき説明があり, これを諒承。

3. 第 50 回 (2013 年) 年次大会準備委員会の構成

これに関して近藤大会実行委員長より, 年次大会の準備委員会の構成について説明があり, これを諒承。

4. 第 50 回 (2013 年) 年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

これに関して近藤大会実行委員長より, 年次大会の並行セッション及びシンポジウムの構成について説明があり, これを諒承。

5. 学会賞優秀発表賞の件

これに関して, 酒井学会賞選考委員会委員長より, 優秀発表賞の選考結果について説明があり, これを諒承。

6. 『地域学研究』セット販売の推進

これに関して, 氷鮑会長より, セット販売について説明があり, これを諒承。

7. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

これに関して, 氷鮑会長より, 入会員勧誘キャンペーンの担当者リストの修正について説明があり, これを諒承。

8. その他

1) 日本地域学会の顧問規程の承認

これに関して, 渋澤総務担当常任理事より, 顧問規程について説明があり, これを諒承。

2) 50 周年記念の寄付及び記念誌の販売について

これに関して, 氷鮑会長より, 50 周年記念の寄付状況, 会計状況, 及び記念誌の販売状況について説明があり, これを諒承。

3) 日本地域学会のサーバー運営について

これに関して, 水野谷幹事より, サーバーの移転と

費用について説明があり, これを諒承。

4) 経済学会連合の国際会議派遣補助について

これに関して, 氷鮑会長より国際会議派遣補助の説明があり, これを諒承。

5) 道州制に関する研究会の設置検討について

これに関して, 筒井監事より, 道州制に関する研究会の設置検討について説明があり, これを諒承。

6) 地域学研究の国際化

これに関して, 氷鮑会長より地域学研究出版の国際化プロジェクトについて説明があり, これを諒承。

報告事項

1. 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員長と渋澤総務担当常任理事より『地域学研究』42 巻と第 43 巻の掲載候補論文の選考結果と印刷状況について報告が行われた。平成 25 年 1 月より, Editorial Manager の投稿審査システムを本格的な運用を開始するとの説明があった。

2. RSAI の動向

3. PRSCO の動向

平成 25・26 年期 日本地域学会新理事会

日時: 平成 24 年 12 月 22 日 (金) 15:00-15:30

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 石橋, 加賀屋, 鐘ヶ江, 国光, 近藤, 櫻井, 佐々木, 渋澤, 多和田, 中山, 氷鮑, 福井, 藤岡, 松本, 三橋, 宮田の各理事 (ただし, 木南 (莉), 斎藤, 高橋, 徳永, 戸田, 萩原, 林, 三友の各理事より委任状付託); 水野谷, 内田, 徐の各幹事; 坂田事務局秘書

報告事項

1. 平成 25・26 年期理事会の構成

渋澤総務担当常任理事より, 新理事会の構成について報告があり, これを諒承。

議題

1. 平成 25・26 年期役員人事

多和田理事より, 氷鮑前会長を引き続き会長として就任する提案があり, 審議の結果これを諒承。その後, 氷鮑会長, 渋澤総務担当常任理事及び多和田前々会長より, 細江, 宮田, 及び三橋会員を副会長として, 渋澤, 高橋, 櫻井を常任理事として, 筒井および奥山会員を監事として, 河野, 酒井, 原, 及び臼井会員を顧問として就任する提案があり, 審議の結果,

これを諒承。氷鮑会長より、各種委員会の人事については、執行部一任する提案がされ、審議の結果、これを諒承。

VI. 委員会報告

1. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、50周年記念大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成24年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。最優秀発表賞受賞者には、本年の年次大会(徳島大学)で授与式が執り行われる予定です。

最優秀発表賞:

望月 理生(京都大学)

主題: 東日本大震災の被災地における漁業を産業特性に持つ自治体の漁業就業者数と定住人口の応答-岩手・宮城県沿岸自治体を対象として-

優秀発表賞:

Junnian SONG(University of Tsukuba)

主題: Quantitative Estimation of Biomass Energy and Comprehensive Evaluation of Biomass Utilization: A Case Study of Jilin Province, China
Any WAHYUNI(Toyohashi University of Technology)

主題: Low Carbon Policy in Makassar City: A CGE Analysis

Keyu LU(University of Tsukuba)

主題: Scenario Analysis of Municipal Solid Waste Management System in Shanghai

Nontachai TITHIPONGTRAKUL(南山大学)

主題: 経済・社会・環境のシステムに基づいた幸福度の成長モデル

榎本 毅(立正大学)

主題: エクアドルの地域における環境変化に関する研究

Mahdi IKHLAYEL(University of Tsukuba)

主題: Towards Sustainable Municipal Solid Waste Management in Jordan, A life Cycle Assessment Study

2. 編集委員会報告

日本地域学会 第40回機関誌編集委員会

日時: 平成24年9月16日(日) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 多和田, 木南(章), 氷鮑, 加賀屋, 木南(莉), 藤岡, 細江, 光多, 三友の各編集委員(ただし浅見, 実積, 渋澤, 高橋, 福井の各委員より委任状付託); 水野谷, 内田, 古澤の各幹事; 坂田事務局秘書
議題

1) 『地域学研究』第42巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価に基づき第42巻の掲載論文及び掲載候補論文の選考が行われた。

2) 同上機関誌印刷方針

第42巻の発行計画及び印刷状況について、氷鮑揚四郎編集総務より報告があった。

3) 同上機関誌書評応募図書への取扱い

4) その他

・50周年記念特別セッション(第49回年次大会)の英文特集号の編集について

・「地域学研究」投稿審査システムのオンライン化について

・科学研究費補助金「学術定期行物」の申請・採択状況と今後の対応について

日本地域学会 第41回機関誌編集委員会

日時: 平成24年12月22日(金) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 多和田, 松本, 木南(章), 氷鮑, 加賀屋, 渋澤, 藤岡, 三友, 吉田の各編集委員(ただし浅見, 木南(莉), 実積, 高橋, 福井の各委員より委任状付託); 櫻井, 水野谷, 内田, 徐の各幹事; 坂田事務局秘書
議題

1) 『地域学研究』第42・43巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価に基づき第42巻の掲載候補論文の選考が行われ、掲載論文を決定した。また第49回年次大会の座長評価に基づき、第43巻掲載候補論文としての投稿を勧める対象となる発表を決定した。

2) 同上機関誌印刷方針

第42巻の発行計画と印刷状況について、氷鮑揚四郎編集総務より報告があった。

3) 同上機関誌書評応募図書への取扱い

4) その他

・「地域学研究」投稿審査システムのオンライン化について

VII. 会費納入のお願い

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会平成 25 年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 平成 25 年 3 月末日

までに同封の振込用紙にてお支払いいただけますようお願い申し上げます。

なお、預金口座引落としの手続きを平成 25 年 3 月 20 日までに完了された方には、平成 25 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落としを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証(写し)の提出が必要ですので、fax か封書にて学会事務局までお送り下さい。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化及び再度にわたる督促の経費節減、さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入にご協力頂けますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬 具

1. 平成 25 年度日本地域学会会費等 (適用期間限定)

1) 平成 25 年度 (平成 25 年 4 月 1 日-平成 26 年 3 月 31 日)

一般会員年会費 10,000 円

学生会員年会費 7,000 円

2) *Papers in Regional Science* を印刷された形での購読希望の方の追加料金

一般会員 8,000 円

学生会員 5,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、

a) 納入期限 (平成 25 年 3 月末日) までに上記会費を納入された日本地域学会 会員の方、

b) 平成 25 年 3 月 20 日までに預金口座引落としの手続きを完了された日本地域学会 会員の方、または、

c) 4 月以降に校費 (公費) から支出する事を希望し、納入期限 (平成 25 年 3 月末日) までにその旨、及び支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会 会員の方、に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

外国為替市場の成り行きが不透明な事もあり、上記の金額で期限を遅れて RSAI 会費をご納入いただいても、著しく為替差損を生じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならない危険が見込まれます。

日本地域学会では、この様な事を考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

1) 一般会員年会費として 11,000 円を請求する

2) 学生会員年会費として 8,000 円を請求する

3) *Papers in Regional Science* を印刷物として購読希望の追加料金を一般会員は 9,000 円を請求する

4) 上記 学生会員は 6,000 円を請求する

という事を理事会で決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文 PDF)として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望される方は、学会 HP から、電子ジャーナル『地域学研究』個人購買者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、これにご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格 (平成 25 年 4 月 1 日-平成 26 年 3 月 31 日) は以下の通りとなります。

1) 正会員である個人 (Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円

2) 非会員である個人 (Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円

3) 法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会

員 A) 年会費 10,000 円

4) 非法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関
会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャー
ナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI(国際地域学会) への会員登録について

平成 23 年度から RSAI(国際地域学会) への会員
登録の方法が変更されています。従来より日本地域
学会の会員は自動的に RSAI(国際地域学会) の会員
として登録されておりましたが、会員の増加に伴う
国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を
電子メールアドレスで管理する事になりました。し
たがいまして RSAI の会員登録には、会費を納入す
る事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事
務局に登録することが必要となります。今後も引き
続き RSAI(国際地域学会) の会員となることを希望
される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会
事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わ
せて電子メールアドレスを事務局にお知らせくださ
い。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同
意されない方は、日本地域学会事務局にその旨お
知らせください。

VIII. 第 23 回 PRSCO バンドン大会の お知らせ

既にメールでもお知らせしておりますように、第
23 回 PRSCO(Pacific Regional Science Conference
Organization) 大会がインドネシアのバンドンにお
いて開催されます。PRSCO は日本地域学会がメイ
ンとする国際会議であります。最先端、最新の研究
成果を発表する場として、また若手研究者の研究報
告や広く海外研究者との交流の場として有効活用し
ていただけます。会員諸賢におかれましては奮って
ご参加ください。

大会登録、アブストラクト及び論文提出、ホテル予
約等については、大会 HP をご覧ください。

記

開催日: 2013 年 7 月 2 日 (火)-4 日 (木)

開催地: Savoy Homann Hotel, Jalan Asia Afrika
No. 112, Bandung-40261, West Java, In-
donesia

大会委員長: Dr. Mohamad Fahmi (Faculty of Eco-
nomics and Business, Padjadjaran Univer-
sity)

メインテーマ: Green Growth and Global Recov-
ery: A Regional Perspective

大会 HP: <http://www.prSCO2013.org/>

アブストラクト提出締切: 2013 年 3 月 15 日

論文提出締切: 2013 年 5 月 15 日

以上

IX. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science)
の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、
日本地域学会学会賞を毎年授与しています。

今年度も第 21 回日本地域学会学会賞授賞選考候
補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご
応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞: 地域科学の進歩及び学会の運営に顕著な貢
献をなした会員を表彰する。

論文賞: すぐれた研究論文によって地域科学の発展
に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多
大である会員を表彰する。

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した
会員を表彰する。

著作賞: 地域科学の発展に著しく寄与し、その意義
や貢献が多大である著作物を表彰する。

学位論文賞: 本学会会員である博士または修士課程
修了者がその修了要件として提出したすぐれ
た学位論文を表彰する。

優秀発表賞: 年次大会において優れた論文発表を行
った会員に優秀発表賞を授与する。このうち
最も優秀な論文発表を行った会員には最優秀
発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞及び最優秀発表賞受賞者には
賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞及び優秀発
表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 21 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦 応募要領

◇応募期限

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞:
平成 25 年 4 月 5 日 (金) (事務局必着)

2) 優秀発表賞: 平成 25 年 5 月 31 日 (木) (年次大会
発表申込みと同時, 事務局必着)

◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ, 優秀発表
賞への応募は自薦のみですが, その他への応募は自
薦, 他薦を問いません。所定の応募用紙を事務局に
提出して下さい。

◇推薦資格: 推薦者は, 日本地域学会会員であるこ
とが必要です。

◇受賞資格等

1) 論文賞及び奨励賞の表彰対象となる研究業績は,
過去 2 年間 (暦年) に発表したもので, その主たるも
のが本学会関連誌『地域学研究 (*Studies in Regional
Science*)』及び *Papers in Regional Science of the
RSAI* に掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については, 年令がその表彰対象と
なるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であつ
た事が条件です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については, 過去
2 年以内に出版もしくは公表された研究図書である
ことが条件です。

4) 学位論文賞については, 表彰の時点において修了
後 3 年以内のもので, 当該学位論文に関連した学術
論文を本学会の学術セッションで発表を行っている
か, または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれ
に準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理され
ていることが条件となります。なお, 年齢による
制限はありません。

5) 優秀発表賞については, 以下のいずれかである必
要があります。(a) 授賞対象となる論文発表の年度
末において 30 歳以下である会員, (b) 授賞対象とな
る論文発表時において大学院に在籍する会員, (c) 年
次大会の Early-bird Session (アーリーバード・セッ
ション) で発表する会員であり, 理事会がその表彰
を適当と認めた会員。さらにいずれの場合も, 対象
となる論文の第一著者であり, かつ年次大会当日に
口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会 学会賞 (奨励賞・論文
賞・功績賞) に関する規程」, 「日本地域学会著作賞
に関する規程」, 「日本地域学会学会賞学位論文賞
規程」, 「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に
基づく選考委員会の審議による。決定次第, 受賞者
には連絡します。

◇授賞式: 第 50 回年次大会における総会 (平成 25
年 10 月 徳島大学) にて執り行います。最優秀発表
賞については, 翌年の大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種
別を明記してご請求下さい。優秀発表賞について
は, 年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

X. 会員の移動

新入会員

正会員 39 名

東 善朗 (岐阜大学地域科学研究科大学院生)

Ikhlayel Mahdi Khalil (筑波大学生命環境科学研究
科大学院生)

池川 真理亜 (筑波大学生命環境科学研究科)

林 和眞 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
大学院生)

氏家 晃仁 (東北大学情報科学研究科社会システム計
画学研究室大学院生)

宇多 賢治郎 (立正大学経済学研究科非常勤講師)

内田 元太 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

江川 暁夫 (総合研究開発機構研究調査部主任研究
員)

王 在 (立正大学経済学部)

大熊 匠美 (中央大学大学院経済学研究科大学院生)

加藤 秀弥 (名古屋経済大学経済学部准教授)

木村 幹夫 (日本民間放送連盟研究所主任研究員)

許 雅惇 (立正大学大学院経済学研究科大学院生)

金 雪梅 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

慶田 昌之 (立正大学経済学部専任講師)

黄 温玉 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

Shahjahan Mohammad (筑波大学生命環境科学研究
科大学院生)

周 茜 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

鐘 帥 (筑波大学生命環境科学研究科)

杉田 直樹 (宇都宮大学農学部助教)
 鄒 愉 (筑波大学生命環境科学研究科)
 高地 圭輔 ((株) インターネットイニシアティブ マーケティング本部企画部担当部長)
 高橋 靖生 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)
 Tantiwiwat, Jeerayoos(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)
 Dao, Minh Khue(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)
 成 名憚 (九州大学経済学府大学院生)
 張 国豊 (筑波大学生命環境科学研究科)
 陳 楊 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)
 土屋 信夫 ((株) 建設技術研究所都市システム部グループリーダー)
 杜 (筑波大学生命環境科学研究科大学院生)
 中澤 光一郎 (豊橋技術科学大学 学生)
 Hoa Thi Kim Dang(東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程2年)
 円山 琢也 (熊本大学政策創造研究教育センター准教授)
 宮下 真一 (関西大学政策創造学部准教授)
 望月 理生 (京都大学大学院経済学研究科大学院生)
 森 朋也 (中央大学大学院経済学研究科大学院生)
 吉田 操 (豊橋技術科学大学 学生)
 Lamphayphan Thongphet(広島修道大学大学院生)
 Wahyuni, Any(豊橋技術科学大学大学院環境・生命工学博士後期課程 DC 1年生)

沈 紅花
 野口 絵理
 朴 富栄
 松岡 宏篤
 八頭司 彰久
 山本 伸幸
 李 紅
 李 友炯
 渡会 英明
 ロドルフォ デルガド
 Alibakieva Cholpon
 Damar, Hario
 Dhungana Bhima
 Hoang Thanh Tung
 Lim Iv
 MD Aktaruzzaman
 MD Nor Hayati Bin Tahir
 MD Salleh, Sohaimi
 Mintesnot Gebeyehu
 Nassar, Hussein
 Nguyen Thanh Nga
 Piyush Tiwari
 Sattaphon, Weerapong
 Tengku M. Faziharudean
 Vasantha Wickramasinghe
 Yuhana, Astuti
 ナムハイニャム ツオルモン
 Akmam Wardatul
 Brohi Khan M.
 Davaadorj Khashabat
 Hari Srinivas
 Islam Fakrul
 Manit Satitsamitpong
 Melhem Rimah
 MOHD Gazali Abas
 Ngo Thi Lan Phuong
 Niklas Z. Kviselius
 Promsakana Sarunwit
 Simpson, James
 Zainal Abidin Sanusi
 法人会員 1 団体

一般財団法人 日本地域開発センター

退会会員

正会員 70 名

有吉 範敏	尹 元福
井出 眞弘	上野 健一
大川 信行	太田 耕史郎
小川 哲夫	小山田 晋
梶原 文男	金坂 好晃
柄谷 友香	金 徳鉉
熊谷 拓哉	河野 友佑
崔 香玉	夏 月
鈴木 嘉人	關 哲雄
関根 久子	田家 邦明
田栗 勝悟	田中 貴之

会員数

個人会員 1,042 名
 法人会員 10 団体